



## (第4期) 第17回まつもと子ども未来委員会の報告

平成31年3月20日

第4期の最終回となる、第17回まつもと子ども未来委員会は、平成31年3月10日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、32人の委員のうち20人の委員が出席し、進行は委員長、副委員長が行いました。

### 1 委員会のルール作り

委員募集チラシ作りのために一度中断していた、委員会のルール作りの続きを行いました。

#### 【これまでに考えたルールの内容(作成中)】

(話し合いについて)

- ・ 自分の考えを持つ
- ・ 積極的に発言する
- ・ 他人の意見をしっかり聞く

(委員との関わり方)

- ・ 互いを認め合う
- ・ コミュニケーションを大切にする

(委員である上で…)

- ・ 時間を守る

#### (1) ルールの項目について

上にあるようにルールを項目で分けるかどうか、話し合いが途中だったので、そこから話し合いを始めました。

多数決をしてみたところ、項目に分けた方が良いと考える人が多かったため、項目に分けることで話し合いを進めました。話し合いを進める中で、1つの項目につき、2つはルール



がないとバランスが悪いという意見が出ました。「委員である上で…」の項目が「時間を守る」の1つしかないため、他にルールを考えましたが、案が出ませんでした。「委員である上で…」の項目を別の項目と一緒にする案もありましたが、うまくいかなかったため、項目に分けずに考えていくことになりました。

#### (2) ルールの内容について

続いて、ルールの内容をさらに考えました。「ルールが多いと、しばられている感じがする」という意見があったため、5~7つくらいの数になるように考えていくことになりました。

考えていく中で、「『時間を守る』だけが、とても具体的で違和感がある」「言い方が上から目線な感じがする」という意見があり、別の言い方にできないか、考えていくことになりました。

#### みんなからの意見

- 「時間を守る」のは、事情があって遅れたりするので、むずかしいときもある。
- 「自覚を持つ」または「責任感を持つ」を入れてはどうか。
- 自覚や責任感は、言葉がかたく感じる。
- 決めつける言葉ではなく、うながすような、気持ちに働きかけるような言葉が良い。
- 松本のことを自分たちで責任感を持って考えていくには、松本を好きになること、松本を知ることが必要なもので、それをルールにできないか
- 「好きになること」は個人の感情なので、ルールにできない気がするが、「松本を知る」なら良いと思う。

「松本を知る」について、反対意見がなかったので、「時間を守る」の代わりに「松本を知る」を入れることにしました。

また、最後の1つは「まとめ」のようなルールだと良いという意見がありました。そこで、最後の1つになるルールを考えました。

#### みんなからの意見

- 未来委員会は、松本にどうなってほしいかを考えているので、『理想を貫く』が良い。
- 「理想を貫く」はイメージに合わない気がする。
- 小学5年生にも分かりやすいと良い。
- 「楽しく委員会に参加する」なら分かりやすい。第4期でなかなか委員会に出てこない人もいたので、「楽しく参加する」ことは必要なルールだと思う。

「楽しく委員会に参加する」について、反対意見がなかったので、最後の1つも決まりました。

### (3) タイトル

ここで、せっかくなので、完成したルールにタイトルをつけることにしました。

#### みんなからの意見

- しばりを感じない名前にしたい
- 委員として守ってほしいことをルールにしたので「委員としての心構え」でどうか
- 「心構え」だとかたく感じるので、「委員として」だけにしておいてはどうか。委員として「自分の考えをもつ」など、全てにつながると思う。
- まつもと子ども未来委員会7箇条が良い。
- 長いので、「未来委員会7箇条」でどうか。

「委員としての心構え」「委員として」「未来委員会7箇条」の3つで多数決をしたところ、「未来委員会7箇条」が一番多かったため、タイトルは「未来委員会7箇条」になりました。



### 未来委員会<sup>かじょう</sup>7箇条

- 1 自分の考えを持つ
- 2 他の人の意見をしっかり聞く
- 3 互いを認め合う
- 4 積極的に取り組む
- 5 コミュニケーションを大切にする
- 6 松本をよく知る
- 7 楽しく委員会に参加する

## 2 第4期のまとめ

次に、第4期委員会の1年間の活動を振り返り、グループごとに、勉強になったことや「もっとこうしたら良かった」と思うこと、第5期で「こういう委員会になってほしい」と思うことなどを話し合いました。



### みんなからの意見

#### 【良かったこと・勉強になったこと】

- ・ 普段話すことができない人と話すことや普段できない経験ができた。
- ・ 一人一人が意見を持って参加して取り組めた。
- ・ 人前で意見を言えるようになった。
- ・ 話し合いにとどまらず、実践的なことができた。
- ・ 松本の「いま」を知ることができた。

#### 【「もっとこうすれば良かった」と思うこと】

- ・ 意見を出す子と出さない子の差があった。
- ・ 会議や活動中と休憩中とのメリハリが必要。

#### 【第5期で「こうなってほしい」と思うこと】

- ・ 自分から意見を言えない人を、進行する人が指名して、聞いてあげられると良い。
- ・ メリハリをもって活動できると良い。

続いて、一人一言ずつ委員会の感想を発表しました。

### 一人一言（一部）

- ・ 松本の現状を知ることができて良かった。
- ・ 交流事業など、普段は経験できないことが経験できた。
- ・ 学校がちがう人とも友達になることができた。
- ・ 初めて副委員長になった。うまく進行することができないこともあったけど、良い経験になった。
- ・ 4月からの新しい委員会を続ける人と続けられない人がいると思うけれど、これからの生活で、未来委員会の経験を活かしていきたい。



### 3 修了証授与

1年間の活動を終えたみんなに、第4期まつもと子ども未来委員会の修了証と記念品の授与がありました。



### 4 こども育成課からの話

最後に、こども育成課から、まとめの話がありました。

#### こども育成課の話

- 委員会に参加したきっかけは人それぞれだと思いますが、「楽しかった」という感想が聞けてうれしく思います。何事も楽しみながらチャレンジしていくことが大切です。
- 活動をとおして松本を知り、「松本は良いまちだ」と思ってくれた子は、そこに住んでいる自分のことも良いと思えるようになっていくと思います。自分に良いところがあると考えることはとても良いことだと思います。
- マザー・テレサの言葉に「あなたは、あなたであれば良い」という言葉があります。第4期はたくさんのメンバーが集まりましたが、みんないきいきと活動してくれた、それぞれに素晴らしい子たちでした。第5期もいろいろな人が集まって、松本のことを考えたら良いと思います。
- また、マザー・テレサは「神様は、あなたに成功してほしいのではなく、挑戦してもらいたいのだ」という言葉も残しています。みんなには、これからも色々なことにチャレンジしてほしいと思います。



これで、第4期の活動は全ておしまいです。

1年間おつかれさまでした！ごみ拾いやルール作りなど、自分たちでやりたいこと、やらなければいけないと思うことに積極的に取り組んでくれた第4期のみんな。これからも、未来委員会をとおして知り合った仲間や経験を大切にしていってください。